

くどやま

こんにちは！
議会です

第105号

編集
発行

☎648-0198 和歌山県伊都郡九度山町議会広報編集委員会 ☎0736-54-2019



ねんりんピック紀の国わかやま2019なぎなた交流大会
11月10日～11日 九度山文化スポーツセンター

主な
内容

提案案件と審議の結果……P 2
平成30年度決算概要……P 4
全議員視察研修報告……P 8
意見書提出について……P 9

主な議案と質疑……P 3
一般質問と答弁……P 5～7
委員会活動報告……P 9
町議会活動日誌・編集後記…P10

平成30年度会計決算が公表されました！

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額	
一般会計	33億5664万3878円	33億 419万2325円	5245万1553円	339万8000円	4905万3553円	
特別会計	国民健康保険	8億1403万3057円	7億6616万2475円	4787万 582円	0円	4787万 582円
	後期高齢者医療	1億7884万7152円	1億7884万7152円	0円	0円	0円
	介護保険	7億5120万9885円	7億3734万3694円	1386万6191円	0円	1386万6191円
	簡易水道事業	1億4389万7247円	1億4389万7247円	0円	0円	0円
	下水道事業	1億9714万1688円	1億9714万1688円	0円	0円	0円
	計	20億8512万9029円	20億2339万2256円	6173万6773円	0円	6173万6773円
合計	54億4177万2907円	53億2758万4581円	1億1418万8326円	339万8000円	1億1079万 326円	

決算認定は、決算審査特別委員会に審査付託され、次の12月定例会で採決します。

伊丹 俊也 議員

1. 倒壊の危険のある空き家対策について

質問 2015年に「空家等対策の推進に関する特別措置法（＝空家特措法）」が施行されました。防災、住民の生命・財産を守るという視点から、倒壊の危険が高い空き家を取り壊す等の空家特措法に基づく対応を検討すべきでは。

町長 空家特措法により、「空家等対策計画」を策定することとで、空き家撤去を補助事業で実施できるようになります。補助制度を利用した空き家の撤去については、特定空き家※1に指定後に撤去した場合※2には補助が受けられますが、早期に撤去した所有者が補助を受けられないなど、平等性に欠け、早期撤去することが不利益となることで、不良な空き家の増加につながると考えます。



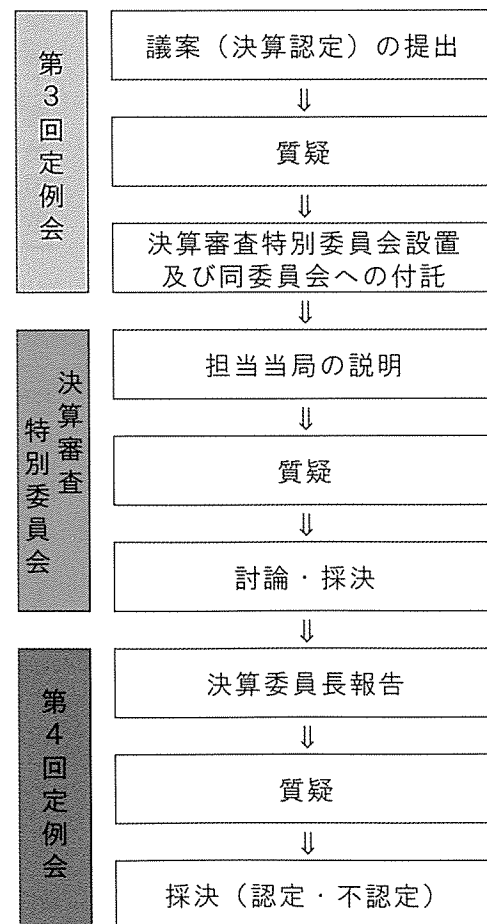
※特定空家イメージ

質問 空家特措法を補う町独自条例制定を検討すべきでは。

町長 特定空家の制定及び指導・勧告・命令・撤去の実施は空家特措法をもとに進めることとなりますので、新たな町条例制定は必要ありません。

再問 空家特措法を補う町独自条例制定にあたって、住民の意見を聞きながら条例を作っていく、そういったことが住民参加で地域の問題（空き家問題）を考える手段となると考えます。

決算審査の流れ



第3回定例会で、次の9名が会計決算審査を行うための決算審査特別委員に選任されました。

◇決算審査特別委員会◇

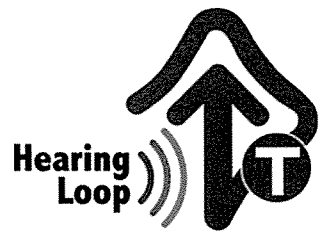
- 委員長 西山 隆
- 副委員長 伊丹 俊也
- 委員 西岡加津子
- 委員 阪井 亮太
- 委員 嶋田 勇治
- 委員 今井三恵子
- 委員 山下 晴夫
- 委員 玉置 秀次
- 委員 井上 崇

2. 難聴者・聴覚障害者支援について

質問 難聴者・聴覚障害者に対する福祉施策として磁気ループシステム※2の貸し出しを行うことを提案します。

町長 導入事例等を参考に検討したいと考えます。

※1 特定空家とは、空家特措法で次のような状態の空き家を「特定空家」としています。
①そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となる恐れのある状態
②そのまま放置すれば著しく衛生上有害となる恐れのある状態
③適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態
④その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態



▲ヒアリングループマーク

補聴器・人工内耳装用者に補聴援助システムがあることを知らせるマークです。

◇その他、「難聴の高齢者の補聴器購入費補助」について質問しました。

西山 隆 議員

1. スカイプ(インターネット)を使用した授業について

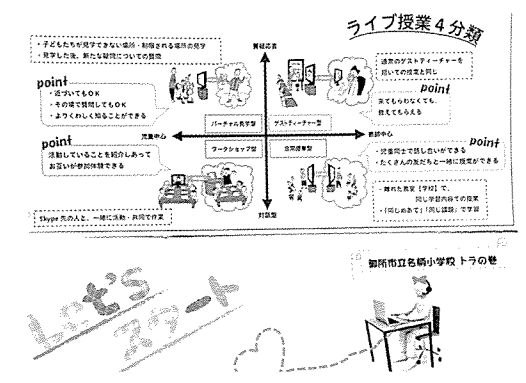
現在、本町では生徒数が減ると同時に先生の数も減り、授業の幅も少なくなる中、スカイプを使用し、他校と授業を共有してはどうでしょうか。本町の生徒をグローバル化し、これから先いろんな世界に飛び出せる人材を創っていくためにライブ授業は必要だと考えます。

今回、教育シンポジウムで紹介された奈良県御所市の名柄小学校、生徒数56名、非常に大きな成果をあげています。



▲関西教育ICT展ガイドブック

2020年度(第46回) 教育財団の実践研究助成 助成校募集 事前案内. Includes text: 「わかりやすい授業がしたい!」「子どもたちの資質・能力を育てたい!」 and a table of funding details.



▲ライブ授業4分類

この成果は、生徒に対して、また先生に対してでもです。

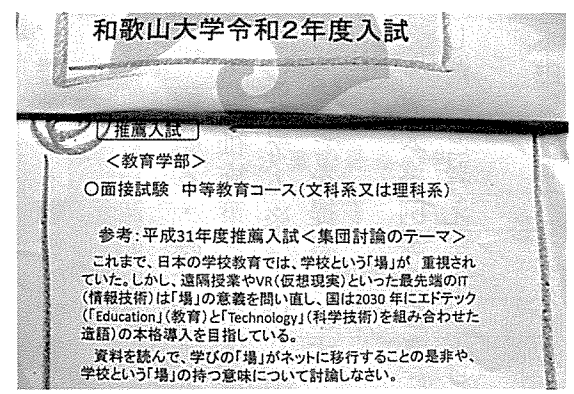
ライブ授業導入について伺います。

教育長 実施にあたっては他校との調整等や条件整備など難しい課題がありますので、今のところ実施する予定はありません。

質問 直接、名柄小学校の教頭先生と担当教師の方にお会いして話を聞いたところ、本町にはほぼ教材がそろっています。また協力校は名柄小学校をはじめ、有ることの考えますか。

教育次長 不足はWEBカメラで数万円程度で購入可能と考えています。

質問 名柄小学校は、パナソニック教育財団と明治大学の協力のもと行っています。パナソニックは、助成校50万円、特別研究指定校150万円、特別研究指定校150万円、国立大学和歌山大学教育学会の来年度の推薦入試に討論授業・仮想現実・最先端のITの教育・科学技術を組み



▲和歌山大学推薦入試

合わせた本格的な導入について(略)です。これは、和歌山大学教育学部が動いている一つの実例です。もう数年先には、ICTを使える先生が卒業してきます。その前に本町が発信していく。ぜひ検討していただきたいと思えます。また、生徒数増に直結すると考えます。

教育長 メリットはあると思うのですが、授業形態及び補助金を取りに行くところまでは、今のところ考えていないのが現状です。

山下 晴夫 議員

1. 防犯カメラ設置について

質問 高野下駅には全国でも珍しい駅舎ホテルができます。防犯カメラを設置することで、事件の抑制など、区民の安心にもつながると思います。町のお考えはいかがですか。

町長 平成29年に設置の要望がありました。当時、当該地域の犯罪発生情報や不審者情報がないこと、1地区への設置となることを踏まえて設置はしていないところであり、現在も同じ考えです。

質問 3年前とは違い、今回は高野下駅に宿泊施設ができ、様々な人が宿泊されます。区民の安心のためにも防犯カメラの設置をお願いします。

地域防災課長 観光客が増える犯罪が増える、とは言えないので、現時点では考えていません。

2. 町有林について

質問 平成25年度借り受け人は71名、今年の7月で51名。現在、山の値打ちが下がり、放置され、荒れ放題になっています。借り受け人がなくなると、町として管理しにくくなると思います。この際、払い下げをしたらどうですか。

町長 将来的にどのようなように活用するか検討中です。町有林の山林用地の払い下げは考えていません。

3. 国土強靱化を町としてどう進めようとしているのか

質問 2014年から始まった国土強靱化アクションプラン、2019年は国土強靱化年次計画。本町は何か計画を考えているのかお聞きします。

町長 国土強靱化関係予算の交付は令和3年度には地域計画が「交付要件」となる予定

であり、町の事業実施に不利益とならぬよう「地域計画」を策定するつもりです。

質問 20年先を見据え、企画書を作ることが大事です。各分野のエキスパートの方々には知恵を出してもらうためには予算計上し、企画書を作成していただきたいと思えます。

町長 計画は策定済ですが、町の将来については皆さんと一緒に議論をして行政を進めていきたいと考えています。

4. 榎尾道について

質問 高野下駅にオープンする駅舎ホテルと榎尾道をどのような活性化につなげようと考えているのかお聞きします。

教育長 町指定の古道を目指し、官民一緒になって進めていきます。駅舎ホテルについては活性化の流れにリンクしているものと感じています。

質問 約100年前、高野口と女人道間が県道に昇格し、新高野街道となりました。時期同じくして、昭和天皇ご成婚記念道程標が建立され、9kmの道のりに200m置きに46本建立されていますが、現在は21本しか残っていません。25本の復旧を目指し、うち13本復旧できました。残りは宮林署・振興局・金剛峯寺の管轄であり、町の協力なくしては出来ません。協力していただけませんか。

教育長 道程標が歴史的価値があるかどうか調査中です。個人の所有物ですので、教育委員会が管理すべきものではありませんが側面からはサポートしたいと思えます。

※榎尾道とは、809年から榎尾山榎尾寺(現施福寺)に住まわれていた弘法大師が高野山を開創するため、また開創後も弁財天に参拝するため高野山から榎尾山まで通われた道。

全議員視察研修報告

長野県飯綱町議会

8月5日に議会改革の取り組みについて視察しました。

【議会改革の概要・動機】

飯綱町は、2005年の2村の合併で発足直後、旧村の第三セクターが突然経営破綻金融機関と旧村が損失補填契約を結んでいたため、約8億円を支払うことになった。

住民の厳しい批判が町執行部だけでなく、「議会は行政のチェック機能を果たしていたのか」と議会の議決責任と説明責任が厳しく問われた。この事を飯綱町議会は議会改革のチャンスと捉えた。

【議会改革の経過と成果】

2008年1月からの半年間で30数回の学習会と議員間の自由討議を重ねた。町民に信頼される議会を目指し、8

項目の議会改革を宣言し、同年9月議会から実践。

- ◇8項目の議会改革(要旨)◇
- ・一般質問に一問一答方式を導入
- ・町民に対して議会の議決責任と説明責任を果たす
- ・議会への住民参加と議会情報公開を進める
- ・議員同士の自由討論を活発に行う
- ・議員の政策立案能力を高め、政策提言、条例制定などに取り組む



◆議会改革取り組みの結果◆

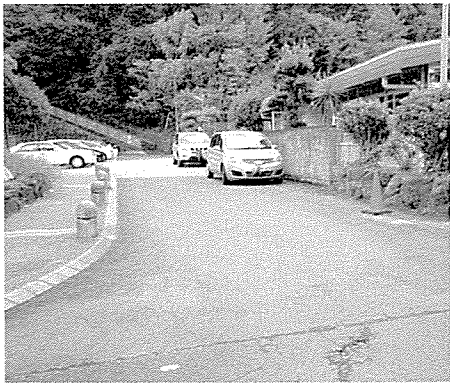
- ①議員の力量向上で議決責任の自覚と決意が問われる町長提案議案の否決、修正、不承認を経験した。
- ②議会は議案を否決・修正・承認することまらず、町長に積極的提言を行っています。

総務文教常任委員会活動報告

現在、全国的な児童・生徒が被害者となる犯罪及び交通事故が増している中、九度山町の子どもたちがより安全で安心して通学できるように総務文教常任委員会は活動を始めています。

9月5日、委員会全員参加のもと、今回は九度山小学校を中心とした通学路の確認をしました。

今後も継続して、子どもたちが安全に安心して通学してもらえよう活動を続けていきたいと考えています。



▲九度山小学校・九度山幼稚園間



▲九度山小学校校門前



▲九度山幼稚園・南海電鉄間

【視察の効果】

視察前に参加議員全員が事前学習を行いました。議会改革のトップランナーと言える議会を視察したことで、机上の学習ではわからない具体的な事例に触れ、「議会改革とは何か」を実感できた有意義な視察研修になりました。



長野県上田市議会

8月6日、観光振興策視察のため、市立博物館・上田城櫓・池波正太郎真田太平記館・サニアパーク菅平・真田氏歴史館を現地視察しました。大河ドラマ放映終了後、城や関連施設への観光客は減少



しています。しかし、各観光施設は企画展に工夫を凝らすことで、リピーターを確保しています。観光客の集客を一度性に終わらせない取り組みは、本町にとっても大いに参考になりました。

サニアパーク菅平は、観光振興を目的として活用され、スキー場のオフシーズンも近隣の民間宿泊所は、スポーツ選手の合宿先として利用されています。

また、姉妹都市上田市の市長・職員、議会議員の皆さんの「おもてなし」も大いに学ばせていただいた視察研修となりました。

国への意見書提出

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

昭和45年に「過疎地域対策特別措置法」制定以来、一定の成果をあげてきたところである。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月をもって失効することになるが、過疎地域が果たしている多面的・公共的機能を維持していくためには、引き続き過疎地域に対して積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・

推進する事が重要である。よって新たな過疎対策法の制定を強く要望するものである。



J A紀北かわかみと懇談



8月21日、九度山町役場でJ A紀北かわかみ役員と議員との懇談会が行われ、柿の高付加価値化、地域農業振興や地産地消の学校給食などについて意見交換を行いました。

ご意見・ご要望をお待ちしております

宛先 〒648-0198
九度山町大字九度山1190
議会事務局「議会広報編集委員会」あて

TEL 54-2019(代表)
FAX 54-4705(直通)
mail gikai@town.kudoyama.lg.jp



次回、定例会は12月に予定されています。
日程が決まり次第、ホームページに掲示します。
<https://www.town.kudoyama.wakayama.jp/>

町議会の活動日誌

- 8月 2日 和歌山県町村議会全議員研修会
- 5日 ~7日
全議員視察研修
- 7日 ~8日
県選出国会議員への要望活動
- 9日 橋本周辺広域市町村圏組合議会臨時会
伊都郡消防組合議会定例会
橋本伊都衛生施設組合議会定例会
- 20日 県知事への要望活動
- 21日 JA紀北川上懇談会
和歌山県市町村総合事務組合議会定例会
- 28日 伊都郡町村及び橋本市
児童福祉施設事務組合議会定例会
伊都郡町村及び橋本市
老人福祉施設事務組合議会定例会
- 29日 議会運営委員会
- 9月 3日 本会議/全員協議会
- 12日 本会議
- 13日 議会広報編集委員会
総務文教常任委員会/産業厚生常任委員会
- 20日 本会議/議会広報編集委員会
- 30日 議会広報編集委員会
- 10月 8日 議会広報編集委員会
- 16日 決算審査特別委員会
- 18日 決算審査特別委員会
- 23日 決算審査特別委員会
- 28日 決算審査特別委員会

◇ 編集後記 ◇

少子高齢化による人口減少、グローバル経済化による経済情勢の変化などにより、地方自治体、地方議会を取り巻く環境が大きく変化しつつあります。そのような状況の下、首長とともに地方自治を担う議会は、住民の代表機関としての在り方が問われています。今、少なくとも地方議会が議会改革に取り組んでいます。

8月に視察してきた議会改革のトップランナーと言える飯綱町議会は、議会への住民参加を広げ、「議会の見える化」を進める議会改革の一つとして議会広報を重視しています。

この視察研修を生かし、九度山町議会の様子がわかる議会広報を議会広報編集委員一丸となって目指して行きたいと思えます。

委員長 伊丹 俊也